

所属機関長殿

平成 26 年度 研究助成のご案内について

拝啓 時下ますますご隆盛のこととお慶び申し上げます。

平素は、本財団の活動に格別なるご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ご承知の如く本財団は、研究助成事業と顕彰事業を 2 本の柱とする事業を展開しております。

さて、平成26年度の研究助成事業として「臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究」の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して研究助成を行います。

早速ながら、本年度の研究助成金申請書を作成しましたのでお届けいたします。

ご多忙中のところ、恐縮ではございますが貴機関の関係者にご伝達の上、平成26年5月30日(金、当日消印有効)までに、申請者ご自身から本財団宛申請くださいますようお願いの程、ご案内かたがたお願い申し上げます。

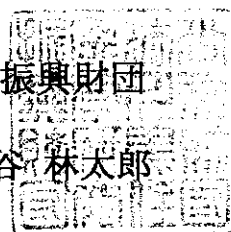
敬具

平成26年3月吉日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

理事長 中谷 林太郎

※公益財団法人 黒住医学研究振興財団の事務局は
東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル7 栄研化学株式会社内にあります。
TEL 03-5846-3504 FAX 03-5846-3514
URL <http://www.kmf.or.jp> E-mail : info@kmf.or.jp



公益財団法人 黒住医学研究振興財団
平成 26 年度 第 22 回 研究助成事業募集要項

1. 研究助成事業の対象

研究助成は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査並びに研究で、より優れた学術研究・業績を研究助成事業の対象とし、若手の育成（原則として 50 歳以下）を主眼としています。（財団ホームページ「よくあるご質問」をご参照ください。）

2. 応募資格

医学関連の大学及びその他の教育機関、研究所並びに医療機関等において、本研究助成事業の対象領域において調査、研究に積極的に取り組もうとする個人とします。

ただし、大学教授及び国公立研究機関の部長並びにこれらに準ずる職位の方は除きます。

3. 対象領域

- ① 臨床化学
- ② 分子生物学（医学）
- ③ 臨床微生物学
- ④ 臨床免疫学
- ⑤ 検査血液学
- ⑥ 人体病理学
- ⑦ 疫 学* *臨床検査・衛生検査についての集団(mass)を対象に扱う研究の七つの領域とします。

4. 募集期間

平成 26 年 3 月 10 日（月）から平成 26 年 5 月 30 日（金）までとします。

なお、郵送の場合は当日の消印まで有効です。

5. 研究助成件数及び研究助成額

研究助成額は 1 件 100 万円を限度とし、12 件以上とします。

研究期間は、原則として 1 年間としますが、終了しない場合は中間報告として研究・会計報告書を提出していただきます。

6. 応募方法

所定の申請書に必要事項を原則としてワープロソフトにより黒インクで記入し、本財団研究助成金選考委員会 宛に送付してください。

なお、提出数は「原本と複写 2 部」の合計 3 部を送付してください。

☆財団ホームページ募集要項から Word 2003 ファイルで申請書をダウンロードすることができます。

7. 審査方法及び通知

本財団の委嘱する審査委員が七つの対象領域ごとに審査したあと、選考委員会で選考審査を行い、理事会で決定します。その結果は、本財団ホームページに掲載し、受贈者にその旨を通知いたします。

8. 研究助成金の贈呈

平成 26 年 10 月 31 日（金）の小島三郎記念文化賞贈呈式にあわせて、研究助成金を贈呈します。

9. 受贈者の研究助成金受領後の義務

本財団の研究助成金募集要項により手続きを行っていただきますが、本財団の年報発行のため、次の①、②、④の事項を研究助成金受領後(贈呈式後)、1年以内に本財団事務局へ提出していただきます。

① 研究結果については 2,000 字以内の報告書の提出

② 会計報告の提出

③ 研究結果を発表する口頭発表(記録あり)、論文発表等には本財団の研究助成を受けた旨の附記(英字表記の場合は、「KUROZUMI MEDICAL FOUNDATION」)

④ 継続研究の場合は中間報告書の提出

※「研究報告書」の本財団事務局への提出が確認できなかった場合は、当該研究課題について贈呈した研究助成金の贈呈決定の取り消し及び返還を求め、所属する研究機関の名称等の情報を公表する場合があります。

0. 申請書類の提出先

〒110-8408

東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7 栄研化学株式会社内

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 研究助成金選考委員会 宛

(問い合わせ先)

公益財団法人 黒住医学研究振興財団 事務局

T E L 03-5846-3504

F A X 03-5846-3514

E-mail info@kmf.or.jp

【記】 ○必ず公益財団法人黒住医学研究振興財団のホームページから申請書をダウンロードしてご使用ください。(年度毎に改訂されますのでご注意ください。)

U R L <http://www.kmf.or.jp/>

○ 所属機関長は大学長、研究所長、病院長及びそれに相当する職域の長であること。

○ 応募の書類は一切返却いたしません。

第 21 回研究助成金贈呈者の研究課題一覧 (平成 25 年度)

参考

氏 名	所 属	研 究 課 題	選考対象
飯野 かずみ 和美	浜松医科大学附属病院 検査部 助教 医学博士	悪性褐色細胞腫の早期診断・予後予測マーカーの確立と臨床検査への応用	臨床化学
いしばし おきむ 石橋 幸	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻生命機能化学分野 准教授 工学博士	体液中マイクロ RNA の直接定量に基づく新しい癌診断技術の開発	分子生物学
うちやま じゅんべい 内山 淳平	高知大学教育研究部 医療学系基礎医学部門 助教 医学博士	ポイント・オブ・ケア診断を目指したバクテリオファージ尾部吸着分子を利用した簡易迅速細菌検出技術の開発	臨床微生物学
おきよねだ つかさ 沖米田 司	関西学院大学理工学部 生命科学科生命医化学専攻 准教授 薬学博士	閉塞性肺疾患に関わる細胞表面マーカー分子の定量評価系の確立	分子生物学
おくむら かよ 奥村 香世	国立大学法人帯広畜産大学 畜産衛生学研究部門 助教 医学博士	結核菌仮想コンセンサスゲノムの構築と高解像度タイピング技術の確立	臨床微生物学
かまた よしひろ 鎌田 佳宏	大阪大学大学院 医学系研究科機能診断科学 助教 医学博士	糖鎖生物学的手法を用いた非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) 血液バイオマーカーの開発	臨床化学
しもさわ たつお 下澤 達雄	東京大学医学部附属病院 検査部 講師 医学博士	エピジェネティクス制御異常にもとづく高血圧病態診断法の開発	分子生物学
たけざわ ゆか 竹澤 由夏	信州大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師	肝小胞体蓄積病 (HERSD) により肝硬変を引き起こす低フィブリノゲン血症の分子生物学的解析とその鑑別検査法の開発	検査血液学
たむら ゆういち 田村 雄一	慶應義塾大学医学部循環器内科 特任助教 医学博士	新規バイオマーカー：ペントラキシン 3 を用いた肺高血圧症の早期発見	臨床免疫学
つじおか たかゆき 辻岡 貴之	川崎医科大学 検査診断学教室 講師 医学博士	造血器腫瘍における DNA メチル化阻害薬の治療効果を予測できる因子の検索	検査血液学
とちぎ なおぶみ 栃木 直文	東邦大学医学部 病院病理学講座 講師 医学博士	造血器腫瘍における DNA メチル化阻害薬の治療効果を予測できる因子の検索	人体病理学
なかの りゅういち 中野 竜一	帝京大学医学部 微生物学講座 助教 医学博士	LAMP 法によるカルバペネマーゼ産生菌の迅速検出法の開発	臨床微生物学
はしもと こうし 橋本 貢士	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 メタボ先制医療講座 特任准教授 医学博士	新規分子マーカー Siglec1 によるバセドウ病の再燃・再発の予測 <多施設による検討>	疫学
ひらやま さとし 平山 哲	順天堂大学医学部 臨床検査医学講座 准教授 医学博士	コレステロール合成・吸収・異化マーカーは動脈硬化の予測因子か	臨床化学
わきさか なおひろ 脇坂 尚宏	金沢大学附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 講師 医学博士	中咽頭癌のヒト乳頭腫ウイルス陽性率に対する疫学的調査とスクリーニングとしてのブラッシング法の有用性に関する研究	疫学

総申請者 162 名
研究助成金総額 1,200 万円:15 名